

第 1 期総合戦略の効果検証

(1) 指標の達成状況

森町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「第 1 期総合戦略」という。）では、4 つの基本目標に対応する【基本指標】と、18 項目の【重要業績評価指標（K P I）】の数値目標を設定しています。今回、第 2 期総合戦略の策定にあたって、進捗状況を評価しました。

【基本指標】のうち、基本目標 3 「しごと」と 4 「安心」の 2 項目は「目標達成」していますが、基本目標 1 「ひと」と 2 「魅力と交流」は「未達成」でした。

18 項目の【重要業績評価指標（K P I）】のうち、3 項目は「目標達成」しており、10 項目については「目標達成」には至っていないものの数値改善が図られており、全体の 7 割の指標に関しておおむね順調な進捗状況となっています。基本目標別では、目標 1 「ひと」は 5 項目中 5 項目、目標 2 「魅力と交流」は 5 項目中 3 項目、目標 3 「しごと」は 4 項目中 4 項目、目標 4 「安心」は 4 項目中 1 項目が「目標達成」または「目標達成」には至っていないものの数値改善が図られており、目標によって達成状況が異なる結果となっています。

基本目標と施策との関係でみると、基本目標 1 と 2 では、施策は概ね順調に進捗していますが、基本目標の指標達成には至っていないことになります。

【第1期総合戦略の目標達成状況】

○：目標達成
△：「目標達成」には至っていないものの数値改善が図られている
×：目標未達成

基本目標、基本指標 施策とKPI		指標	基準値と目標	年度別数値					達成状況
				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	
1.「ひと」を育む ～“森”に学び育つ～									
基本指標		出生数	基準値 129人 目標値 150人	116人	111人	98人	111人	70人	×
(1)子育て支援の 充実	KPI	待機児童ゼロの 継続	基準値 0人 目標値 0人	0人	2人	4人	0人	0人	○
(2)若い世代の結 婚・出産に対する 意欲喚起	KPI	結婚相談者数	基準値 89人 目標値 150人	57人	62人	77人	84人	79人	△
(3)子どもを守り・ 育む環境づくり	KPI	ファミリーサポー トセンター登録会 員数	基準値 147人 目標値 180人	104人	109人	116人	129人	147人	△
(4)教育力の強化・教育レベルの 向上	KPI	授業の内容がわか ると思う小学 生の割合	基準値 90% 目標値 95%	86%	89%	90%	92%	94%	△
	KPI	授業の内容がわか ると思う中学 生の割合	基準値 80% 目標値 90%	82%	72%	76%	82%	83%	△
2.「魅力」と「交流」をつくる ～人とふれあう～									
基本指標		年間観光入込客 数	基準値 1,109,702 人 目標値 120万人	1,123,281人	1,109,266人	1,098,974人	1,092,435人	1,059,354人	×
(1)定住環境とし ての魅力向上(住 みたいと思えるま ちづくり)	KPI	公共交通利用者 数	基準値 280,993人 目標値 29万人	300,450人	291,043人	295,917人	301,218人	298,065人	△
(2)地域資源を活 かした交流・集客 の創出・拡大	KPI	新東名IC(遠州 森町SIC及び森 掛川IC)通行量	基準値 1日3,649台 目標値 1日5,000台	3,845台	4,325台	4,402台	4,477台	4,688台	△
(3)広域交流圏の 形成	KPI	友好都市年間交 流者数	基準値 25人 目標値 30人	25人	21人	20人	30人	21人	×
(4)地域ブランド の創造・魅力向上	KPI	ブランド化に関す る技術提携	基準値 0件 目標値 1件	0件	0件	0件	0件	0件	×
(5)タウンプロモ ーションの展開	KPI	観光協会 Facebookアクセ ス件数	基準値 75,000件 目標値 10万件	104,186件	35,790件	52,036件	167,524件	189,648件	○

基本目標、基本指標 施策とKPI		指標	基準値と目標	年度別数値					達成状況
				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	
3. 「しごと」をつくる ～人を活かす～									
基本指標		町内事業所従業員数	基準値 7,000人 目標値 8,000人	7,507人	7,731人	7,783人	7,941人	8,119人	○
(1)若者・女性・高齢者などが活躍できる環境づくり	KPI	地域おこし協力隊受入数	基準値 0件 目標値 2件	0件	1件	1件	3件	1件	△
(2)働きやすさの向上	KPI	事業所内保育所数	基準値 2施設 目標値 3施設	2施設	2施設	2施設	2施設	3施設	○
(3)地域産業・既存産業の振興・活性化	KPI	農業生産法人化数	基準値 5社 目標値 10社	6社	6社	7社	8社	8社	△
(4)起業創業、新産業の進出等の支援	KPI	新規企業立地件数	基準値 0件 目標値 3件	1件	2件	5件	2件	2件	△
4. 「安心」をつくる ～“森”との共生～									
基本指標		健康高齢者数 (要支援・要介護認定を受けていない高齢者数)	基準値 4,732人 目標値 5,000人	4,829人	4,901人	4,996人	5,050人	5,142人	○
(1)健康長寿の延伸・元気な高齢者づくり	KPI	お達者度 県下1位の継続	基準値 県内1位 目標値 県内1位	1位	男性2位 女性2位	男性6位 女性1位	男性18位 女性5位	男性17位 女性 12位	×
(2)移住促進	KPI	新規住宅着工件数	基準値 96件 目標値 120件	66件	71件	66件	65件	51件	×
(3)町民活動・地域活動の活性化	KPI	ホームページのアクセス件数	基準値 177,626件 目標値 250,000件	161,815件	167,494件	205,867件	225,218件	236,906件	△
(4)災害対策の推進	KPI	住宅の耐震化率	基準値 74.7% 目標値 90%	74.7%	74.7%	74.7%	74.7%	74.7%	×

(2) 事業の進捗状況

91 の事業のうち、68 事業は「計画通り進捗した」あるいは「計画以上に進捗した」としており、「概ね計画通り進捗した」21 事業を含めると、97.8%の事業が順調に進捗していると評価できます。

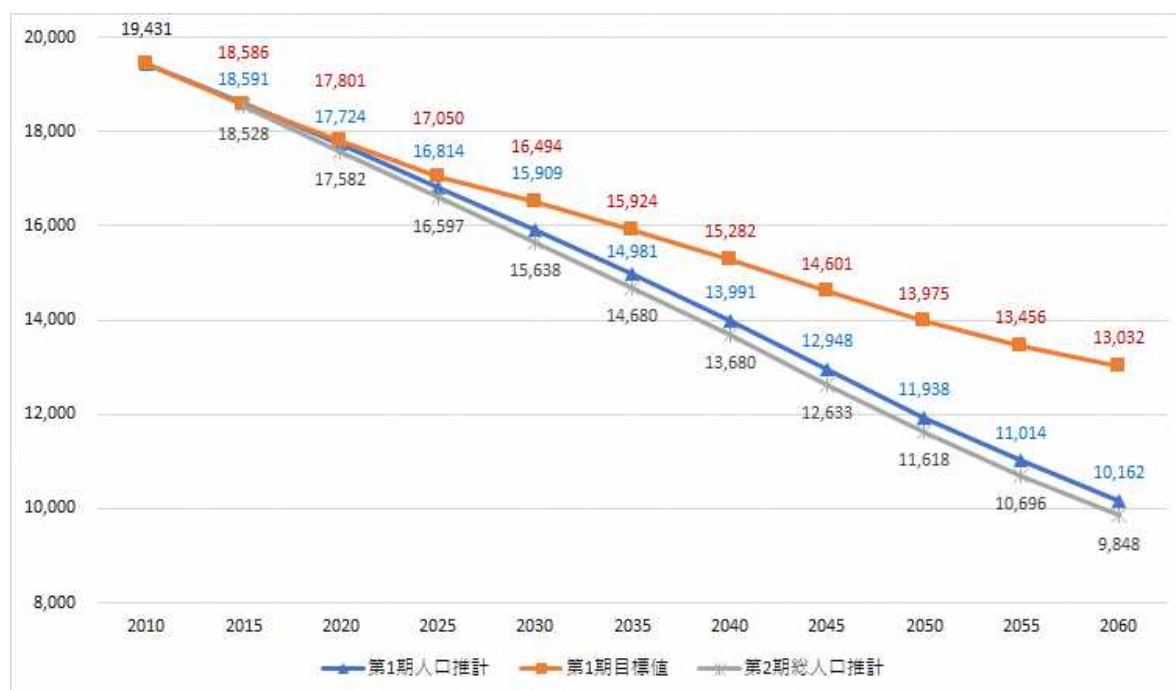
【第1期総合戦略の事業の進捗状況（令和元年度）】

基本目標	施策の展開方向	S 計画以上に 進捗した	A 計画通り進 捗した	B 概ね計画通 り進捗した	C 計画通り進 捗しなかつ た
1. 「ひと」 を 育 む ～ “森” に 学 び 育 つ ～	(1) 子育て支援の充実（森町 で子どもを育てたいと思える まちづくり）		7		
	(2) 若い世代の結婚・出産に 対する意欲喚起		3	2	
	(3) 子どもを守り・育む環境 づくり		2	1	
	(4) 教育力の強化・教育レベ ルの向上		9		
2. 「魅力」 と「交流」 をつくる ～ 人とふ れあう～	(1) 定住環境としての魅力向 上(住みたいと思えるまちづく り)	1	1	1	
	(2) 地域資源を活かした交 流・集客の創出・拡大		5	2	
	(3) 交流広域圏の形成		2	4	
	(4) 地域ブランドの創造・魅 力向上		2		
	(5) タウンプロモーションの 展開		4		
3. 「しごと」をつく る ～ 人 を 活 かす～	(1) 若者・女性・高齢者など が活躍できる環境づくり		1	2	
	(2) 働きやすさの向上			3	
	(3) 地場産業・既存産業の振 興・活性化	1	8	1	
	(4) 起業創業、新産業の進出 等の支援		4	4	
4. 「安心」 をつくる ～ “森” と の共生～	(1) 健康長寿の延伸・元気な 高齢者づくり		6		
	(2) 移住促進（町外転出者の Uターン促進、転入者の受入環 境の充実）		2	1	1
	(3) 町民活動・地域活動の活 性化	2	5		
	(4) 災害対策の推進	1	2		1
合計		5	63	21	2
		91			

(3) 人口の推移

第1期ビジョンでは、2015年推計人口は18,591人でしたが、実績は18,528人で63人の減少、目標18,586人に対しては58人の減少となっており、人口の減少が収まっていきいているとは言い難い状況です。

【第1期推計と実績及び2期推計の比較】



(4) 効果分析

①自然増減と社会増減

上記により、第1期の事業は概ね順調に進捗していますが、基本目標1「ひと」と2「魅力と交流」の指標は「未達成」が多くなっています。

基本目標1「ひと」は子育て、結婚・出産、教育に係る施策のため自然増減との関わりが大きく、基本目標2「魅力と交流」は定住環境としての魅力、交流・集客等に係る施策のため社会増減との関わりが大きい施策です。

このため、第1期以降の自然増減、社会増減の変化をみると、以下のことがいえます。

- ・自然増減は2015年の△158人に対してその後の4年間平均は△155.75人であり、改善していない。
- ・社会増減は、2015年の△74人に対してその後の4年間平均は△55.75人であり、やや改善されてきている。

全体としては、自然減の絶対値が大きいので社会減が改善されていても人口は減少しています。

自然減が縮小していないことが、人口減の改善につながっていないと言えます。

【自然増減】

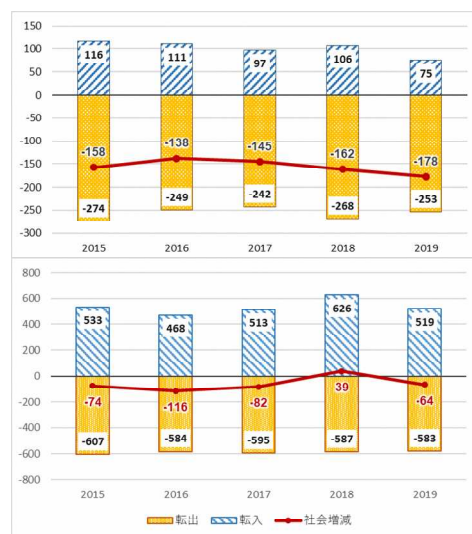
	2015	2016	2017	2018	2019	4年合計	年平均
死亡	274	249	242	268	253	1012	253
出生	116	111	97	106	75	389	97.25
自然増減	-158	-138	-145	-162	-178	-623	-155.75

【社会増減】

	2015	2016	2017	2018	2019	4年合計	年平均
転出	607	584	595	587	583	2349	587.25
転入	533	468	513	626	519	2126	531.5
社会増減	-74	-116	-82	39	-64	-223	-55.75

自然増減は、2015年で158人の自然減。2016年～2019年の平均で約156人の自然減のため、ほぼ横ばいと言える。

社会増減は、2015年時点で74人の社会減。その後4年間の平均は約56人の社会減のため、平均して18人/年(74-55.75=18.25)で少しずつ改善している。



②自然減が改善しない要因

○女性の出産適齢世代の転出

社会減の縮小傾向が見られるとは言え、10歳以上40歳未満の女性は社会減になっているので、出産の適齢世代が減少しています。

○出生数の減少

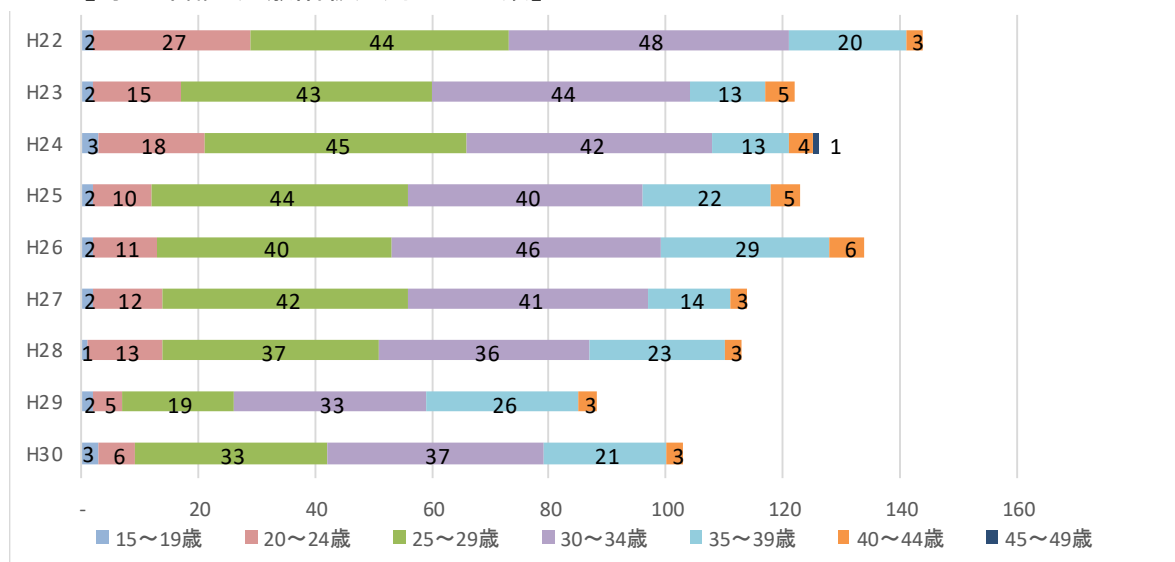
上記の理由を含めて、母の年齢30歳未満の出生数が減少しています。一方、母の年齢

30 歳以上が占める割合が高くなっていますが、この世代の出生数はほぼ横ばいです。
このため、出生数は年々減少しています。

【2018 年度 年代別転出入者数】※網掛けは転入超過

		合計人数									
		計	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
日本人	転入	363	58	19	88	88	40	28	17	11	14
	転出	422	27	23	166	101	28	30	20	7	20
	社会増減	-59	31	-4	-78	-13	12	-2	-3	4	-6

【母の年齢（5 歳階級）別の出生数】



○合計特殊出生率の低下

森町の出生数の減少にも関わらず保育所の待機児童の発生等保育の現場を圧迫していることや、乳幼児の転入数が多いこと等から出産を森町外で行い、その後子どもを連れて森町へ転入していることが合計特殊出生率の低下につながっていると考えられます。

上記により、若い世代の人口減が改善されないことが、出生数の減少による人口減につながっているといえます。